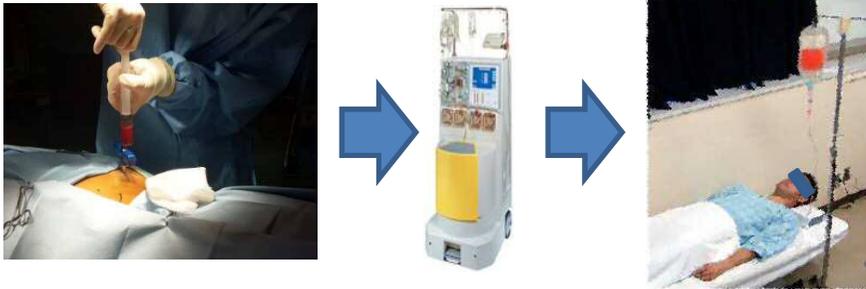


# 本学で現在実施中の 自己骨髄細胞を用いた肝硬変症に対する再生療法

## 先進医療B 自己骨髄細胞投与療法 (非培養・全骨髄単核球・末梢静脈投与)



【手術室】  
全身麻酔で約400mLの  
自己骨髄液を採取

【再生・細胞治療センター】  
骨髄単核球分画を分離濃縮

【一般病室】  
骨髄採取の当日  
本人へ末梢静脈  
(点滴)投与

### 【成因】

C型肝硬変

### 【適応基準】

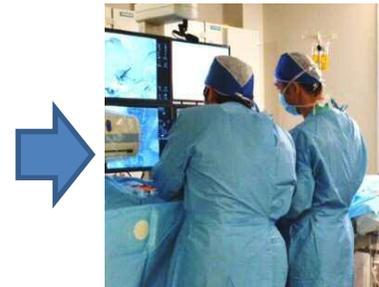
Child-Pughスコア7点以上  
総ビリルビン3mg/dL未満  
など

## 臨床研究(安全性評価 Phase I) 培養自己骨髄細胞肝動脈投与療法 (培養・骨髄間葉系幹細胞(MSC)・肝動脈投与)



【手術室】  
局所/静脈麻酔で約60mLの  
自己骨髄液を採取

【再生・細胞治療センター】  
アイソレータで骨髄MSCを  
拡大培養



【血管造影室】  
本人へ細胞懸濁液を肝動  
脈から肝臓へ直接投与

### 【成因】

成因は問わない

### 【適応基準】

Child-Pughスコア7点以上  
総ビリルビン5mg/dL未満  
など